

# 現在とこれからの農業

## ■ 耕地の減少

- ・ 日本の耕地面積→国土面積の約13%しかない
- ・ **集約農業**→せまい農地から多くの収穫をあげるため、  
多くの肥料や人手をかける

## ■ 農家の減少

- ・ 農家数(1950年代・600万戸→2008年・250万戸) 大きく減少
- ・ 他の産業につく農家の若手が増えた
- ・ 農業の請け負い→農作業の一部や全部を請け負う  
→大規模な農家ほど請け負うことが多い

## ■ 耕地

- ・ 水をたくわえる
- ・ 空気をきれいにする
- ・ 土の流出を防ぐ
- ・ 気温を調節する という働きもしている

# 現在とこれからの農業

## ■農家の種類

- ①**専業農家** → 農業の収入だけで生活
- ②兼業農家 **第一種兼業農家** → 農業収入が主で農業以外の収入もある  
**第二種兼業農家** → 農業以外の収入が主

## ■農家の分類(1990年以降～)

- ・ 専業農家と兼業農家 → 販売農家
- ・ **主業農家** … 販売農家で65歳未満の働き手がいて農業収入が半分以上
- ・ **準主業農家** … 販売農家で65歳未満の働き手がいて農業収入が半分未満
- ・ **副業的農家** … 販売農家で65歳未満の働き手がない農家
- ・ **自給的農家** … 販売農家ではなく、自分の家で食べるだけの農作物を生産する農家

※販売農家のうち働く人の3分の2が65歳以上 → 高齢化

※高齢化と後継者不足が大きな課題

# 現在とこれからの農業

## ■食生活の変化

- ・主食の割合が減り、副食物の割合が増えている  
(米↓ 小麦↑ 肉類↑ 乳製品↑ 野菜↑ くだもの↑)
- ・1人が1日にとるカロリー一量が増加
- ・食生活の洋風化

## ■食物の輸入

- ・食料自給率→**自国で必要とする食料のうち、国内で生産した量の割合**  
日本の食料自給率は**約39%**で先進国の中でも低い  
小麦(13%) 大豆(5%) えさ用のとうもろこし(0%)
- ・食料の輸入額が最も多いのは**魚・貝類**

# 現在とこれからの農業

## ■食物の輸入が増えた理由

- ①安い→アメリカ合衆国やカナダは大規模農業で日本より値段が安い
- ②輸入制限をゆるめた→外国からの要求
- ③輸送技術の発達→新鮮なまま輸入できるようになった

## ■食物の輸入の問題点

- ①安全面→BSEなどの病気、大量の農薬など
- ②輸入できなくなる→不作、関係が悪くなる

## ■食物の安全性

- ①情報の表示→**ICチップ**で情報を提供
- ②あいがも農法、**有機農法**→農薬や化学肥料の使用を減らす
- ③**新農業基本法**(食料・農業・農村基本法)

1999年に制定、食料の安定供給、農業経営の発展、環境に役立つ農業

## 現在とこれからの農業(問題)

(1)日本の耕地面積は国土面積のおよそ何%ですか。丸をつけなさい。

【ア 約10% イ 約20% ウ 約50% エ 約80%】

(2)せまい農地から多くの収穫をあげるために人手をかけることを何といいますか。丸をつけなさい。

【ア 有機農法 イ 集約農業 ウ あいがも農法】

(3)兼業農家のうち農業以外の収入が主である農家を何といいますか。丸をつけなさい。

【ア 第一種兼業農家 イ 第二種兼業農家 ウ 第三種兼業農家】

## 現在とこれからの農業(問題)

- (4) 自国で必要とする食料のうち、国内で生産した量の割合を何といたしますか。
  
- (5) 日本の(4)は50%を上回っていますか、下回っていますか。
  
- (6) 生産地や収穫日などの情報が知ることができるチップを何といたしますか。
  
- (7) 1999年に制定された食料の安定供給などを目的とした法律を何といたしますか。